

第二十六回

よこはま「万作・萬斎の会」

KYOGEN

MANSAKU & MANSAI
in YOKOHAMA

番組

小舞 芦刈
ASHIKARI

狂言 馬口 勞
BAKUROH

狂言 連歌 盜人
RENGA NUSUBITO

令和八年十一月三日[火] ◎ 横浜能楽堂

◎ 十二時十五分開場 ● 十三時開演

入場料

S席 6000円 / A席 5000円

B席 4000円 / 学生席 3000円

主催 万作の会

協力 アーツマネジメントYOKOHAMA

後援 朝日新聞横浜総局、朝日カルチャーセンター横浜教室

tvk

番組組

解説

中村 修一

小舞

芦刈

野村 裕基

地謡

岡 聡史
深田 博治
高野 和憲
石田 淡朗

素囃子

早笛舞働

大鼓 佃 良太郎
小鼓 鳥山 直也

太鼓 澤田 晃良
笛 栗林 祐輔

狂言

馬口旁

博旁

野村 萬斎

閻魔大王

飯田 豪

地謡

岡 聡史
高野 和憲
野村 裕基
中村 修一
石田 淡朗

狂言芸話

野村 万作

狂言

連歌盗人

有徳人

野村 万作

男 高野 和憲
男 深田 博治

休憩二十分

(終演予定時刻十五時二十分頃)

小舞 芦刈 あしかり

能「芦刈」の見せ場である笠之段の部分を狂言小舞にしたもの。難波の浦の春色と、さまざまな笠を織り込んだ「笠尽くし」の謡にご注目ください。

馬口旁 ばくろう

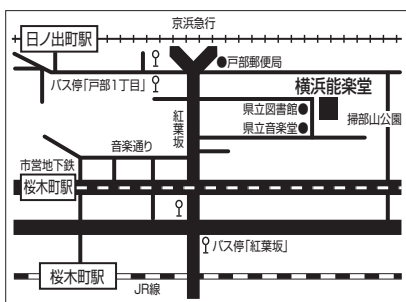
地獄に落ちる罪人の数が減り飢饉になつているので、罪人を地獄へ連れてゆこうと閻魔大王自ら六道の辻へやってくる。そこへ、丁度やつてきた博旁を早速地獄へ落そうと責め立てる。逃げ惑う博旁の持つ轡(くつわ)に興味を持ち、馬具と知ると、乗馬を教えてくれと言いだして...

狂言における閻魔と罪人の例にもれず、この曲でも二人の立場は逆転してしましますが、超人的な「朝比奈」などに比べると、人間のしたたかさ、閻魔の人の好きさが際立ちます。

連歌盗人 れんがぬすびと

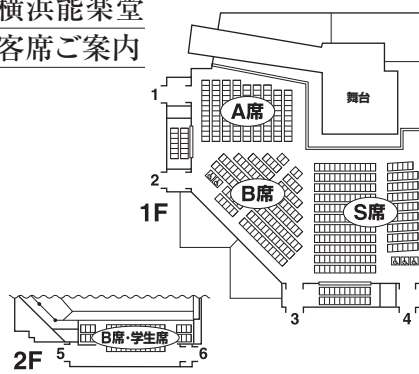
ある男二人が連歌の初心者会の当番に当たったが、貧乏なため準備ができない。そこで知り合いの金持ちの家から道具類を盗み出すことにする。裏手の垣をのこぎりで破り、家の中に忍び込むと、そこは来客があつたままの取り散らかった座敷。置き去りにされた懐紙に発句(連歌の最初の一句)が記されているのを見た二人は、つい夢中で句を付けはじめてしま...

中世、連歌は貴族から一般庶民にいたるまでの間で大流行しました。三つの役柄それぞれに見せ場がある本作品。熟達の芸をお楽しみ下さい。



横浜能楽堂
住所 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘27-2 TEL.045-263-3055
交通 電車:桜木町駅下車徒歩15分(JR線・市営地下鉄線)
京浜急行日ノ出町駅下車徒歩18分
バス停:紅葉坂・戸部1丁目

横浜能楽堂
客席ご案内



チケット料金

S席 6,000円/A席 5,000円/B席 4,000円/学生席 3,000円

チケット発売日

令和8年9月30日(水) 午前10時より

チケットのお求め

●チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

セブン・イレブンにてお取扱有り(Pコード 544-508)

●カンフェティ <https://www.confetti.com/>
tel 050-3092-0051 (平日10時~17時)

※学生券は万作の会にて発売日午前11時より販売致します。

※車椅子席もございます(詳しくは万作の会にお問合せ下さい)。

※売切の場合、万作の会のお電話でキャンセル待ちを承ります。

主催・お問い合わせ

万作の会 TEL. 03-5981-9778(平日11~17時受付)

ホームページアドレス <https://www.mansaku.co.jp>